

The Kawabata Yasunari Collection

His Passion for Fine Arts

知識も理屈もなく、
私にただ見てゐる。

川端康成コレクション
伝統とモダニズム

ノーベル文学賞を受賞した日本を代表する小説家、川端康成は、美術品の蒐集家としても知られています。土偶や埴輪をはじめ、浦上玉堂の《凍雲節雪図》、池大雅と与謝蕪村による《十便十宜図》といった近世絵画の傑作や、近代工芸の優品などからなるそのコレクションは、伝統的な美に対する審美眼の確かさを物語っています。同時にモダニズムの芸術に対しても深い理解を示し、ロダンや東山魁夷、さらに古賀春江や草間彌生までを蒐集の対象としていました。川端は文学作品においても多くの美術品について書いています。伝統的な日本美術作品が登場する小説は枚挙にいとまがないほどですが、たとえば『古都』では、クレイや抽象絵画にまでその筆は及んでいます。しかもこうした美術作品は、小説の本質的な部分に関わるようなモチーフとして扱われているのです。本展は、伝統とモダニズムの双方にまたがる蒐集品を軸に、川端文学の展開や文学者たちとの交流をも視野に入れ、その深淵な美意識の世界に分け入ろうとするものです。

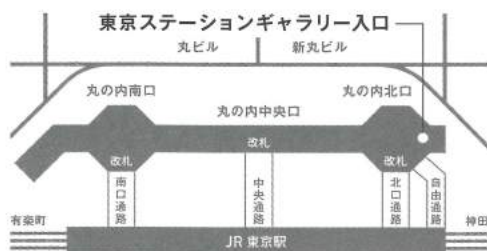


関連イベント

- ギャラリートーク(展示室内での作品解説)
ゲスト:水原園博氏[公益財団法人川端康成記念会東京事務所代表]
日時/5月6日[金]、5月20日[金] 11:00—(約30分)
3階展示室集合
参加無料(要別途入館料) *混雑時には中止することがあります
- レンガ・タッチ&トーク(煉瓦が特徴的な当館のたても解説)
日時/5月13日[金]、5月27日[金]、6月10日[金] 18:00—(約20分)
1階エントランス集合
参加無料(要別途入館料)

次回展

○UBSアートコレクションより(仮称) 2016年7月2日[土]—9月4日[日]



〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1
TEL.03-3212-2485 <http://www.ejcf.or.jp/gallery/>
交通: JR東京駅 丸の内北口 改札前(東京駅丸の内駅舎内)



1.浦上玉堂 国宝《凍雲節雪図》江戸時代(19世紀初)[展示期間 4月23日-5月8日]/2.池大雅 国宝《十便図》の内「釣便」1771(明和8)年[展示期間 5月24日-5月29日]《十便図》は画面を替えて、会期中に全10面を展示します。/3.古賀春江《煙火》1927(昭和2)年/4.東山魁夷《北山初雪》1968(昭和43)年/5.ロダン《女の手》/6.埴輪《乙女頭部》古墳時代(5-6世紀)/7.《三島水指》李朝(17世紀) *いずれも公益財団法人川端康成記念会蔵